

2 実態調査の実施

当業務の委託内容に沿って、図 2.1 のような関連図を作成し、明らかにすべき事柄を整理した。林業労働力確保を支援するためには、求職者や新卒者などの林業に対するイメージや、雇用に関する希望等を把握した上で、実際の林業事業体の求人条件や雇用条件、労働環境の実態などの基礎情報を把握する必要がある。また、既に林業事業体で就労している方々からは、林業に就労する際の実体験や、林業への新規就労者への助言などの情報も把握する必要がある。

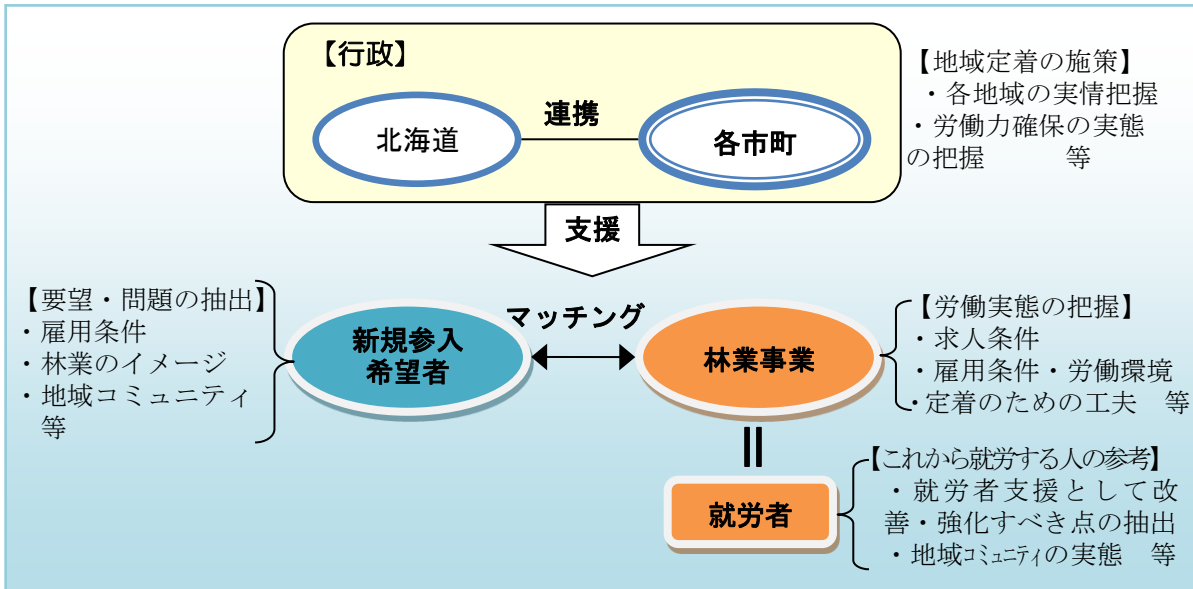


図 2.1 当業務における関連図

2.1 質問項目の検討

アンケートや聞き取りなどで行う質問項目は、知りたい内容を抽出し、目的に合致したものを厳選する必要がある。また、回答者の負担とならないような言い回し、質問項目の配列、質問の数量としなければならない。回答方法は、選択方式を原則として、文章回答を求める設問を極力減らさなければならない。

主な質問項目については、本業務の委託内容として 1.7 委託内容に前掲したとおりで、求職者へのアンケート調査票は、主に「林業のイメージ」、「興味・関心を持つ人の属性」、「林業を就労先とするために必要な事」などを含めた。特に新卒者となる学生用のアンケート票は、平易な単語・表現を用いるよう努めた。

林業事業体（経営者）へのアンケート調査票には、「採用活動の実態」、「新規参加者の受入体制」、「通年雇用に関する施策・助成への要望」などを含めた。

林業就業者へのアンケート調査票には、「林業への就労を決めた理由や背景」、「希望する待遇」などを含めた。

発注者と協議を重ねて、最終的に配布した調査票（ハローワーク用、林業事業体（経営者）用、就業者用、学生用）は、資料編に掲載した。

2.2 調査の実施要領

1) 対象となる調査先

当業務では、図 2.1 における林業への「新規参入希望者」、「林業事業体」、「就労者」の 3 者から、各種基礎情報を得ることとした。

【新規参入希望者】

一般的な雇用条件や、地方の暮らしの許容レベルの把握、林業へ就労するに当たっての魅力・問題点、林業のイメージなどを明らかにする。特に、求職者か新卒者かに分類し、次を対象に調査を実施する。

A) 求職者（求職活動中）

- (ア) 道内の公共職業安定所（以降、ハローワーク）において、アンケート調査の実施（調査員の呼び掛けに応じ、記入時間がある方対象）。
- (イ) 同じく、アンケート調査票の配布後、返送（調査員の呼び掛けに応じたものの、記入時間がないなどの方対象）。
- (ウ) 北海道森林整備担い手センターと北海道森林組合連合会への問合せ者などにも、アンケート調査を実施。

B) 新卒者（予定者を含む）

- (ア) 道内森林科学科系の農業高校（旭川、帯広、岩見沢）にアンケート調査票を配布し、就職活動前の 2 年生と就職活動後の 3 年生に回答してもらう。
- (イ) 森林科学科を併設する北海道大学農学部の学部生と大学院生それぞれにアンケート調査票を配布し、回答してもらう。
- (ウ) 林業関係の人材を輩出する札幌工科専門学校にもアンケート調査票を配布し、対象となる環境緑地工学科在籍の学生に回答してもらう。

【林業事業体（経営者）】

道内 6 圏域（道南、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室、道央）の各林業事業体における求人条件、雇用条件、労働環境などの実態把握に関して、アンケート調査票を配布し調査を行う。なお、地域林業の活性化や、行政に期待する支援内容などについての聞き取り調査も併せて行う。

【林業就労者】

被雇用の現状、及び希望する雇用条件、労働環境等の把握に関して、アンケート調査票を配布し調査を行い、これから林業に就労する人の参考情報とする。対象は、上記林業事業体に属する概ね 5 年以内の新規就労者とする。なお、実体験に基づき、林業への新規就労を促す方策などについての聞き取り調査も併せて行う。

2) 調査数量

北海道内の森林・林業に関するアンケート調査の回収率は低く、10%程度が平均的な数値である。調査精度を維持するためには、道内の林業事業体数（756 法人）を母集団とする場合、その半数程度の 380 件の有効回答を得る必要がある。

このためアンケート回収率を 20%に設定し、全調査で 600 件の回収を目標に、1,200 件の配布を目指した。表 2.1 では、各目標数量とその結果を示した。

表 2.1 調査数量及び回収率

調査区分	箇所等	調査先	予定配布数	予定回収数	回収数	回収達成率
求職者 (ハローワーク)	道南圏	函館、江差	100 件	20 件	74 件	370%
	道央圏	札幌北、札幌、岩見沢、苫小牧、倶知安、浦河	200 件	40 件	116 件	290%
	道北圏	旭川、留萌、稚内	120 件	24 件	76 件	317%
	オホーツク圏	北見、網走、紋別、美幌	120 件	24 件	81 件	337%
	十勝圏	帯広、池田	100 件	20 件	113 件	565%
	釧路・根室圏	釧路、中標津、根室	100 件	20 件	78 件	390%
求職者 (教育機関)	森林科学科を有する教育機関	北海道大学農学部森林科学科	40 件	40 件	23 件	58%
		道内農業高校(旭川、帯広、岩見沢)各 80 名	240 件	240 件	237 件	99%
		札幌工科専門学校	20 件	20 件	14 件	70%
林業事業体、 就業者	道南圏	8 事業体、就業者 16 人	18 件	18 件	24 件	133%
	道央圏	8 事業体、就業者 15 人	20 件	20 件	23 件	115%
	道北圏	8 事業体、就業者 15 人	20 件	20 件	23 件	115%
	オホーツク圏	8 事業体、就業者 14 人	20 件	20 件	22 件	110%
	十勝圏	9 事業体、就業者 16 人	20 件	20 件	25 件	125%
	釧路・根室圏	9 事業体、就業者 15 人	18 件	18 件	24 件	133%
計			1,156 件	564 件	953 件	169%

3) 調査の実施要領

調査の実施段階において、実施上の要領、注意点、及び留意事項などを列記する。

(1) ハローワークにおける求職者のアンケート調査

- ハローワーク内では、求職者の求職活動を妨げない範囲でアンケートを依頼する。
- アンケート調査を行う際、身分と調査目的を説明し、同意を得られた場合のみ実施する。
なお、調査の協力を拒否された場合は速やかに引き下がる。
- アンケート調査は、調査員 2 名の体制で行う。
- 調査員は身分を明示するため、会社名と氏名を明記した名札をネックホルダーに入れたものと、「北海道」の腕章を、それぞれ着用する。
- アンケート調査票への記入終了後に、北海道の林業に関する広報資料を同封したクリアパッケージを手渡す。
- アンケート調査の回収率を高めるために、その場での記入依頼を第一とする。しかし、記入するための十分な時間がなかったり、乳幼児などの世話などで記入の余裕がなかったり

する求職者へは、返送用封筒を同封したクリアパッケージを手渡し、後程アンケート調査票に回答の上、返信頂くよう依頼する。

- 調査対象とするハローワークは、各圏域で核となるハローワークや、各（総合）振興局を網羅するように、20 箇所を抽出する。
- ハローワークでの調査日は、多くの求職活動者のハローワーク来所が見込まれる「認定日」とし、アンケート調査の回答率の向上を図る。

(2) 林業事業体（経営者及び就業者）へのアンケート調査

- 調査協力を得る段階において、業務の発注元や受託者名、事業趣旨の理解を十分に得るため、口頭説明のみならず、Fax やメールで資料の事前送付を行う。
- 調査協力が得られた林業事業体へは、アンケート調査票を事前に郵送、電子メール、Fax で送付し、訪問当日前に記入して頂く。当日は、事業体や事業現場を訪問して、聞き取り調査を行う。
- 聞き取り調査は、事業現場に精通した技術職員と、補助者の 2 名体制で行う。
- 調査員は身分を明示するため、会社名と氏名を明記した名札をネックホルダーに入れたものと、「北海道」の腕章を、それぞれ着用する。
- 調査項目は求職者用と同様に選択方式をメインとする。口頭による回答は、調査員が記録する。
- 調査項目のうち、就業者による待遇や事業体への要望などは、事業者と就業者間の課題となるため、筆記録の方法を検討する。
- 訪問時間及び場所は、対象者の労働の支障とならないよう配慮する。